



MINATO

# みなとユネスコ 会報

# Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.  
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/ 田部葵一郎  
Mail: m-info@minatounesco.jp https://minato-unesco.jp

2025年3月1日発行 第179号

## 目次

P. 1 巻頭言 「能楽」への誘い	P. 9 港区新年あいさつ交歓会
P. 2-5 はにわを楽しむ	P. 10 お魚料理教室
P. 6-7 インターナショナルウィンターパーティー	P. 11 MUA 新年のつどい
P. 8 第8回日本語スピーチコンテスト	P. 12 事務局便り

## 「能楽」(無形文化遺産)への誘い ～能楽堂でまどろむこと又楽し～

港ユネスコ協会副会長 小林敬幸



日本の演劇史の元祖に位置付けられる室町時代からの「能」、そして江戸時代の「人形浄瑠璃文楽」、「歌舞伎」がユネスコの無形文化遺産に2008年に認定されました。この中で「能」の台詞(せりふ)を大きな声で謡うことを「謡曲(謡・うたい)」と言い、以前は稽古事、趣味の上位にありました。能が演じられる空間「能楽堂」「能舞台」が喧噪を離れて中世を彷徨する舞台となり、癒しとなる時間を提供してくれます。そして心地よい居眠りへ誘ってくれます。

魅力ある「能」、「謡曲」という演劇について3つの点から説明します。

(1) 主役(シテ)による分類でみてみましょう。「神・男・女・狂・鬼(しん・なん・によ・きょう・き)」という分け方ができます。まずは古来よりの物語の神様が五穀豊穡、平和を約束するという「神」。平家物語などから取材、死後も修羅道で苦しむ武将たちが救いを求めて現世に現れるという筋立ての「男」。主人公は女性の死者、恋愛とその苦悩が中心。多くは女性の亡霊の恋する思いが、成仏せずに漂っている内容の「女」。何かを思いつめて心乱れるという内容の「狂」。最後は鬼、天狗、妖精、龍神などがシテとなり、太鼓が加わる華やかな囃子(楽器)で派手な演出の「鬼」。という5つのジャンルがあります。

(2) 代表的な演目を見ていきましょう。「神」は「高砂」「老松」「養老」、「男」は「敦盛」「清経」「屋島(八島)」「巴」、「女」は「羽衣」「井筒」「松風」「定家」、「狂」は「隅田川」「百万」「鉄輪(かなわ)」「道成寺」、「鬼」は「殺生石」「安達原(黒塚)」「猩々(しょうじょう)」「鶴(ぬえ)」など馴染みの演目が全国の能舞台で演じられています。現行曲は200曲前後あります。

(3) 能楽堂を訪ねてみましょう! 都内近郊には港区青山の「鍊仙会」を始め千駄ヶ谷「国立能楽堂」、銀座「観世能楽堂」、中野「梅若」、水道橋「宝生」、目黒「喜多※」、横浜※、川崎、越谷、鎌倉など公設あるいは私設の舞台があります。こじんまりした舞台としては神楽坂「矢来」、渋谷「セルリアン」、杉並、代々木があります。能楽は江戸時代にお城を中心に栄えた歴史から全国に能舞台があります。<※は改修工事中。>

(P. 5 ～続く)

## 「はにわを楽しむ」

日時： 2024年10月26日（土）  
会場： リーブラホール（みなとパーク芝浦）  
講師： 東京国立博物館  
学芸研究部調査研究課考古室 主任研究員  
河野 正訓（かわの まさのり）

特別展「はにわ」が、東京国立博物館で10月16日～12月8日まで開かれていた。期間中ではあったが、これを企画・担当された河野正訓氏に、埴輪（はにわ）のはじまり、形のおもしろさなどについて講演していただいた。

埴輪は弥生時代、墳丘墓（ふんきゅうぼ）の上で、葬送儀礼の土器として並べられていた特殊器台や特殊壺をもとに、古墳時代に入ってから作られた土製品で、円筒埴輪や壺形埴輪から始まった。以降、徐々にその種類を増やしていくが、飛鳥時代（古墳時代終末期）には姿を消してしまう。



### 1. 古墳とは何か。

「古」は古い。「墳」は盛り土をした墓。古い時代に造られた盛り土をした墓のことである。弥生時代には「墳丘墓」、奈良時代には「古墓（こぼ）」と呼ばれている。古墳造りはたいへんな作業なので、終末期以降は仏教の影響で火葬が増える。

（参考）柳井茶臼山古墳（山口・柳井市） 河野正訓撮影 ①

①



#### ・古墳の種類

前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳、帆立貝形古墳、双円墳、上円下方墳、八角墳などがある。古墳時代前期～後期（3～6世紀）にかけては前方後円墳の格が高く、円墳や方墳は格が低い。終末期（7世紀）になると、前方後円墳は消滅し、円墳、方墳、上円下方墳、八角墳が格の高い墳形となる。

#### ・古墳はヤマト王権が中心

日本書紀（720年）や古事記（712年）によると、基本、奈良に王宮があり、畿内地域（奈良県や大阪府周辺）が大きな古墳＝古墳文化の中心となっている。「ヤマト王権」とされる政治体制下に、各地域とは緩やかに統合され、その最上位に立つ人物が「大王」であったとされている。「大王」と各地の王との結びつき等で、前方後円墳が各地に普及していった。

このように古墳をつくれるのは、はじめは限られた人(権力者)であったが、時代が下がるにつれ、群集墳墓に代表されるように幅広い層で古墳が造られるようになり、埴輪の需要も増えていった。

## 2. はにわとは何か？

埴輪……埴(粘土)・輪(とりかこむ)

### ・はにわの種類

円筒埴輪 埴輪の発生から消滅までつづき、多量に並べ、聖域を囲み、石室など古墳内を仕切り、守る役割があったと考えられる。

普通円筒埴輪、朝顔形埴輪、壺形埴輪もこれに類する。

形象埴輪 円筒埴輪からやや遅れて作られるようになる。

動物……鶏・水鳥・馬・犬・猪・鹿など

鶏→「常夜の長鳴鳥」：邪気を払う鶏

動物→王の狩猟を表現。また馬は軍事・伝達などに使われ、王の権威の象徴。馬の普及で陸上輸送が大きく変化していく。

家形……主殿・祭殿・倉庫など

古墳時代の建物の構造や外観をうかがうことができる。

王の魂が住まう依代(よりしろ)の役割

器材……蓋(きぬがさ)・盾・甲冑・鞆(ゆぎ)・矢を入れる道具) など

人物……盾持人・巫女・采女・武人・農民など

群像をなし、それぞれが役割を持って、なにかしらの物語を表現しているようにみられる。

5世紀初頭頃から登場

盾持人などはガードマンのような役割をしている。

驚いた顔、笑顔などは魔除けの表情か。

5世紀半ばには

巫女・武人・力士(四股を踏み邪気を払う)など

(参考) 保渡田八幡塚古墳 (群馬・高崎市) 河野正訓撮影 ②

今城塚古墳 (大阪・高槻市) 河野正訓撮影 ③

②



③



### ・埴輪のはじまり

弥生時代の祭祀土器(特殊壺・特殊器台)から発展し、古墳時代には壺形埴輪・普通円筒埴輪・朝顔形埴輪などに形を変えていく。3世紀半ば(円筒形)→4世紀(家・器財・鳥)→5世紀～6世紀(人物・動物)と後半になると種類が多くなる。

・はにわの置かれる場所の変化

王を葬った広場の中央で棺を埋めた真上、後には造り出し(前方後円墳のくびれ部などに付設された方壇状の部分、祭祀の場)や堤などに置かれた。

・埴輪の終焉

仏教の伝来(538/552年)により、近畿地方では6世紀半ば以降に前方後円墳や埴輪が下火になり、7世紀にはいと全国的に姿を消していく。6世紀後半には、関東など一部の地域では中央の埴輪のコピーにコピーをかさねて独特な埴輪の形が表れてくる。埴輪踊る人々(踊る埴輪として親しまれる。馬を曳いているという説が有力)など。

3. 特別展「はにわ」の紹介

「埴輪 挂甲の武人」(東京国立博物館所蔵)は1974年に埴輪として初めて国宝指定された。2024年には、国宝指定50周年を記念して特別展が開催されている。この特別展では、東北から九州の各地の埴輪が半世紀ぶりに集合し、「踊る埴輪」も修復後、初公開されている。

特に注目されるのは、埴輪の最高傑作といわれる「埴輪 挂甲の武人」と、同一工房で製作されたと考えられる兄弟はにわ4体の、合計5体がせいぞろいしている。

\*5体の所蔵は、東京国立博物館、相川考古館・天理大学附属天理参考館・シアトル美術館・国立歴史民族博物館

\*挂甲(けいこう)は、甲(よろい)の一形式。スカート状に見える部分と胴部が一連になっている、数多くの細長い鉄板をつづり合わせている。⇨短甲(たんこう)

\*彩色復元 国宝の武人に彩色された部分がみられ、白色を基調として、灰・赤の3色で復元されたものも展示されている。(白色は金属のきらめきを表していると考えられる)

(参考) 踊る埴輪 (埼玉・熊谷市) 出典: Colbase ④  
埴輪 挂甲の武人 (群馬・太田市) 出典: Colbase ⑤



4. 港区の埴輪

今回の講演では、特別に港区の埴輪についても紹介していただいた。4世紀後半に造られたと考えられる、都内最大級の前方後円墳(芝丸山古墳)が、芝公園内にある。かつての海岸線に近く、

海を見渡せる高台にあったことから、水上交通を掌握していた有力者の墓ではないかとみられている。

1916年、芝丸山古墳周辺の芝丸山第8号墳から植木移植作業中に人物埴輪（帽子をかぶる男子・首飾りをする女子）、馬形埴輪頭部などが出土した。これらは埼玉県鴻巣市にあった窯で焼かれたものが港区まで運ばれている。鴻巣の首長と芝の首長の、ヤマト王権を介さない地域交流があり、港区には山がなく、焼くための燃料がなかったためではないか。

(参考) 芝丸山古墳 (東京・港区) 河野正訓撮影 ⑥  
芝丸山第8号墳の埴輪 (東京・港区) 出典：Colbase ⑦

⑥



⑦



この講演後、参加者から、興味深い質問が15以上ありましたが、時間の迫る中、ほとんどの質問にわかりやすく、よどみなくお答えいただき、会場も満足した様子でした。後日の情報では、特別展「はにわ」の入場者数は30万人を超えたそうです。

(後記)

「はにわ」「埴輪」は、読みやすさなどで使い分けました。この記録は、講演の魅力を伝えるには、あまりにも、つたないものになりましたが、東京国立博物館・平成館1階の「考古展示室」では、常時、にこやかな埴輪が展示されています。ぜひ、実物に会いに行ってください。

(国際学術文化委員会 磯部豊子)

---

### (P.1から続く) 巻頭言「能楽」(無形文化遺産)への誘い

「能」を鑑賞することで昔ものがたり、源氏、伊勢、平家物語などを受験勉強のテーマでなくて身近なものにすることができます。「中世」の物語が詰まった能楽堂というタイムカプセルへお出かけになりませんか。名所を訪ね、季節の花を愛で、月を望み、日本人の心に触れられる「能楽」への誘いのご案内でした。能楽堂でまどろむこと又楽しみです。

## インターナショナルウィンターパーティー

日時:2024年12月1日(日) 17:30~20:00

会場:港区立伝統文化交流館 交流の間

昨年度から、年末の新たなイベントとして始めました「インターナショナルウィンターパーティー」は、年末のクリスマスムードが高まる12月1日(日)、港区立伝統文化交流館交流の間において開催しました。

当建物は、港区の指定有形文化財であり、都内に現存する最古級の木造見番建造物です。歴史を感じる建物、趣のある畳敷きの居室での開催は、当イベントに相応しく、会場の雰囲気、パーティーをより一層盛り上げてくれました。

今年は少し大人のムードで、“今宵は音楽と共に～”をテーマに、プロのアーティストをお招きし、オペラ、クラシック、ジャズ演奏、ピアノ&バイオリン×語りなど、盛りだくさんの内容で企画しました。

会場は満員御礼、港区在住在勤在学、会員、フランス、インドネシア、台湾などの外国籍の方にも参加していただき、まさにインターナショナルウィンターパーティーになりました。



第一部の始まりはオペラ独奏会。

歌劇～全員合唱の「あわてんぼうのサンタクロース」を含む8曲を歌っていただきました。ソプラノ歌手の天使のような歌声は、皆さんの心に響いたのではないのでしょうか。



続いて語りと音楽。

俳優による宮沢賢治の「注文の多い料理店」の語りは、登場人物ごとに話し方やトーンを変えながら、臨場感たっぷり、その素晴らしさは勿論、物語の場面に合わせて奏でるピアノとバイオリンの生演奏・・・会場全体がいつの間にか物語に引き込まれていました。



朗読会の後は、ピアノとバイオリンのクリスマスソング演奏。会場に響き渡る美しい音色により、一気にクリスマスムードに。

第二部は全員参加の豪華景品付きクイズ大会から始めました。〇×クイズ、三択クイズなど、昨年同様に大変盛り上がりました。

トリは、昨年圧巻の演奏に皆が魅了された、著名なベーシストによる生演奏。今年も出演していただきました。

演奏が始まると、もうそこはブルーノート？息の合ったコントラバスとピアノの演奏。会場に響き渡るコントラバスの重厚で深みと温かさのある音色、シンコペーション豊かな響き、力強さと優雅さ穏やかさを兼ねそろえた大迫力の演奏は、今回も会場内の誰もが魅了されました。

“今宵は音楽と共に～”をテーマに始まりました、第2回インターナショナルウィンターパーティーも、大盛況に終わることができました。

参加者の方からお手紙を届きました。

#### 前略

昨晩は思いがけない楽しい Wonderful、Fantastic な境地の至福の一時を過ごさせて頂きありがとうございました。

・・・中略・・・

スタッフの方々の心豊かなプログラムに心より感謝申し上げます。

とても嬉しい内容でした。

参加者の皆さまに喜んでいただき、素敵な時間を一緒に過ごせましたことを心より嬉しく思っております。

今後も形を変えながら、世代を超えて、国籍を超えて、皆が集う楽しい交流の場を作っていきたいと思っています。

(常任理事 古市容子)



2024  
インターナショナル・ウィンターパーティー

今宵は音楽とともに  
～ music tonight ～

2024年12月1日(日) 17:30開始 20:00終了予定  
\*開会挨拶 港ユネスコ協会会長  
\*スタッフ紹介 プログラム案内

**第一部**  
\*オペラ独奏会  
1. 天使のパン セザールフランク 作  
2. そして小鳥は ブッチーニ 作  
3. ねむの木の子もり歌 上原后美智子様 作  
4. クリスマスメドレー (ピアノ)  
5. 歌劇「イル ガンビエッロ」から  
「さようなら、堂しのヴェネツィア」  
6. あわてんぼうのサンタクロース  
7. 命の歌 村松宗純 作

\*語りと音楽  
朗読 「注文の多い料理店」 宮沢賢治  
クリスマスソング演奏  
1. クリスマスキャロル・メドレー  
2. ダニー・ボーイ  
3. ザ・クリスマスソング

**第二部**  
\*クイズ大会  
\*Jazzライブ

\*港ユネスコ協会の紹介  
\*閉会挨拶

## 第8回 日本語スピーチコンテスト

日時:2024年12月08日(日)13:00~16:00

会場:港区男女平等参画センター「リーブラ」ホール

2024年12月8日、リーブラホールにて外国人による日本語スピーチコンテストが開催されました。新しい港区長の清家愛様、及び港区教育委員会教育長浦田幹男様にもご出席いただき、このイベントを地域全体で盛り上げる貴重な機会となりました。

出場者の減少により、急遽ミステリースピーカーとして石合和世さんが登壇されました。石合さんは長年フランスでの生活を経験し、その現実的で興味深い話で観客を魅了しました。最終的には7カ国から8名の出場者が参加し、それぞれが日本語で自分の視点や経験を堂々と語り、大いに会場を盛り上げました。

第二部では、コンテスト出場者と見学者の交流会が行われました。この交流会では、玉川大学および青山学院大学ユネスコクラブの学生の皆さんがファシリテーターを務め、参加者同士が自然な形で交流できる場を作ってくださいました。

今回は港ユネスコ協会において新たな世代交代ともいえる場面が多く見られ、若い世代の方々の新鮮なアイデアやユーモアが随所に生かされました。その結果、以前よりもスリムかつ効果的な形でリラックスしたイベントを開催することができ、成功に繋がったことを大変うれしく思います。ご協力いただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。次回もさらに多くの皆さまの参加をお待ちしております。

### 審査結果

最優秀賞	Obeng Mavis	オベン メイビス
港ユネスコ協会会長賞	Rai Dhuba	ライ ドゥルヴァ
港区長賞	Natsuki Schiavone	和月 スキャボーネ
港区教育長賞	Husam Amanallah Bukhary	ホサム アマアッラー ブカーリ
港区商店街連合会会長賞	Aiya Bulat	アイヤ ブラット
審査員賞	Abeeha Sajjad	アビハ サジャド
優秀賞	Oskar Schmid	オスカーシュミット
優秀賞	Meerab Sajjad	ミラブ サジャド
会場特別賞	Rai Dhuba	ライ ドゥルヴァ



(常任理事 田川純子)





## 港区新年あいさつ交歓会

月日：2025年1月10日（金）

会場：東京プリンスホテル 鳳凰の間

東京プリンスホテルに足を踏み入れた瞬間、「オッ 今年は何か違う！」そう感じました。何が違うのかというと——それは「なんだか明るい」のです。

淡くもありながら、どこか凛とした色合いのお着物を纏った清家愛港区長が出迎えてくださる姿はまるで周囲の人々に幸せのオーラを降り注いでいるかのようでした。約900名の国際色豊かな方々が集う中、鏡開きは議長、副議長、そしてイタリア大使によって執り行われました。閉会の挨拶は社会福祉協議会会長が務められました。

今年、巳年の「巳」は「再生と変化」を意味し、「努力が結実し、成長と飛躍の年になる」と言われています。清家区長が掲げる施政方針のスローガンは、「Co-design the future- Minato City」つまり「一緒に未来を描ける町-港区」です。

私達、港ユネスコ協会もまた「再生と変化」の年である今年こそ、「Co-design the future - 一緒に未来を描ける団体でありたい」と願うばかりです。



(常任理事 田川純子)

**MUA2025年3月の開催事業紹介**

主催 港ユネスコ協会 共催 港区教育委員会

日時：2025年  
**3月8日(土)**  
13:30~16:00

会場：  
港区立生涯学習センター  
101号室 港区新橋3-16-3  
(JR新橋駅西森口から徒歩3分)

定員：30名 (申込み多数の場合は抽選)

参加費(材料費・保険料)：  
\*港ユネスコ協会会員…3,000円  
\*一般の方……………3,500円

受付期間：  
\*2025年2月4日(火)~2月21日(金)  
\*お申込みはホームページから

内容：

日本の伝統文化  
**盆**  
Japanese Traditional Culture  
**nsai**  
Demonstration and hands-on experience  
**栽**  
実演と体験

Sakurien

## 世界の味文化紹介 お魚料理教室

日時：2025年1月18日（土） 12:00～15:30

会場：港区立男女平等参画センター リーブラ料理室

港ユネスコ協会の会員である、東京海洋大学 igoan ユネスコクラブとコラボし、魚の料理体験教室を開催しました。

まずは、ながさき一生先生に、日本における魚食文化についての講義をいただきました。東京都の人たちがどのくらい魚介類を食べているか？なんと、富山市、青森市、札幌市、秋田市に続いて第5位だそうです。また、近年魚を食べなくなる傾向にあり、肉食が進んでいる昨今ですが、世界の人が年間20キロ食べている中で、日本人は45キロとまだまだ魚を食べる文化であると言えるそうです。



今回の料理教室では、東京海洋大学の学生が、豊洲市場から上質で新鮮な素材を仕入れるところから始めました。鰯も鱈も鯛も透明感のある黒目をしていて、身もぷりぷりに丸く、ピカピカに光っているなど、いかに新鮮な魚かを物語っていました。

体験教室では、学生が参加者の方に魚の捌き方や調理方法を教えながら料理を楽しみました。



さばき方の手順として、①頭を落とす ②エラや内臓を取る ③3枚に分ける の基本作業を全員で体験し、料理は「鱈の南蛮漬け」「真鯛のカルパッチョ」「鯛めし」「真鰯のなめろう」作りにチャレンジしました。

試食会では、参加者全員、自ら捌いて調理したお料理に舌鼓をうっていました。



(常任理事 古市容子、東京海洋大学 igoan ユネスコクラブ 城取秀斗)

## 令和7年「新年のつどい」を開催

去る1月30日(木)に、令和7年港ユネスコ協会恒例の「新年のつどい」を実施しました。参加者は、田部会長、永野顧問をはじめとした9人で、午前11時30分から開始し、午後2時までの間2時間半で、当初は時間的に長いかと思われましたが、参加者皆さんあつという間の楽しく、濃いお話が出来たとの感想が多く声がありました。

今年は、例年と開催時間を夕方(夜間)から昼間の時間帯に変更して実施したところです。参加者の高齢化により、終了時間が夜間になると、帰宅のラッシュアワーと重なり、交通機関が混雑することや夜間の帰宅に伴う安全確保を念頭に置いたなどを踏まえて、今回の開催時間としました。

内容は、昼食時間帯で食事は松花堂弁当でしたが、飲み物は十分に提供されました。特に、笠原常任委員が、新年をお祝いして自慢の和服のお召し物を着用し参加してくださったことで、今年の「新年のつどい」に素晴らしい花を添えて頂きました。

新年のつどいは、石井副会長の開会に始まり、田部会長の新年の挨拶、続いて笠原常任委員の乾杯と進みました。宴の後半には、参加者ひとり一人から、今年の抱負について述べて頂き、大変興味深いお話もあって、皆さん本当に和気あいあいとした時間を過ごすことができたと感じました。

中締めを永野顧問の乾杯で締めくくり、お開きとなりました。



(副会長 石井義明)

## 事務局便り

### 【ようこそ新入会員】

前号以降、3名の新入会員が加わっていただきました。

### 【開催中・募集中の事業】

- ☆日本語講座 (Spring Term) 田川純子先生 4/12 スタート (土曜日 10:00～) 10回
- ☆状況に応じた英会話講座 Robert Edward Shiffer 先生 春期 4/3 スタート 定員 8名  
(木曜日 18:30～20:00) 全 9 回
- ☆TOEIC対策講座 中沢萬佐雄先生 春期 4/7 スタート 定員 8名  
(月曜日 18:30～20:00) 全 9 回

\*上記の語学教室の開催場所：港区立生涯学習センター3階 港ユネスコ協会事務局内

- ☆茶道入門講座 小野宗恵先生 4/28 スタート (第四月曜 14:00～16:30) 全 6 回  
港区立生涯学習センター2階 203号室



(以下、日本ユネスコ協会連盟の website 上の「お知らせ・ニュース」から転載)  
2025 年度の U-Smile プログラム活動助成 申請受付中

2025. 01. 29



日本ユネスコ協会連盟は、相対的貧困やさまざまな理由で、困難な状況に置かれた日本の子どもたちを対象に、「U-Smile ～みんながつなぐ子ども応援プログラム」(U-Smile プログラム/地域協働型包括教育支援事業)を実施しています。

本事業では、生活習慣、学習習慣の形成、自己肯定感の醸成など、子どもたちの自尊・自律を促す包括的な支援を推進します。地域のユネスコ協会・クラブ、自治体、教育機関、企業の協働を促し、この取り組みを広げていくことで、子どもたちが夢や希望をもてる社会の実現を目指します。

日本ユネスコ協会連盟では、ユネスコ協会・クラブ等の団体が行う子ども支援の取り組み・活動に対し、活動費用の助成を行います。プログラムの目的に則した活動を行っている組織・団体からの申請をお待ちしております。

(右の写真：津山ユネスコ協会『おちあい おむすび ぷろぐらむ』の様子《2024 年度 U-Smile 助成》)



港ユネスコ協会事務局 火曜日～金曜日 (祝日を除く) 午前 10 時 30 分～午後 5 時

〒105-0004 東京都港区新橋 3-16-3 TEL: 03 (3434) 2300 TEL・FAX: 03 (3434) 2233

Eメール: [m-info@minatounesco.jp](mailto:m-info@minatounesco.jp) ウェブサイト: <https://minato-unesco.jp>

